

朝霞市グリーンインフラ構想

((仮称)宮戸二丁目公園)

朝霞市 都市建設部 みどり公園課

「みどり」や「公園」の役割



雨水の浸透貯留



水害の抑制



湧水の涵養



気候変動の緩和



大気の浄化



ヒートアイランド
現象の緩和



生物多様性



自然とのふれあいや
健康増進の場の提供



避難場所などの
防災機能の提供



郷土の文化的景観の
形成

「みどり」や「公園」は、気候変動の緩和、多様な生物の生息・生育環境の確保、地域の防災性の向上、スポーツ・レクリエーション、自然とのふれあいの場の形成等の役割を担っており、健全な都市生活を営む上で必要不可欠な環境基盤となっています。

また、良好な都市景観、自然、歴史文化を伝える郷土景観の形成に寄与します。さらに、緑とのふれあいを通じて、人と人のつながりが生まれ、コミュニティの形成、生活文化の形成にもつながっていきます。

【参考：朝霞市みどりの基本計画（平成28年3月）】

新設・整備する公園の基本的な考え方

身近な住環境 における課題

頻発する豪雨等の異常気象や自然災害を受けて防災や環境問題への対応が喫緊の課題になるほか、新型コロナウイルス感染症拡大を受けたライフスタイルの変化により、身近な公園や緑などゆとりある屋外空間や、徒歩や自転車で回遊できる空間の役割が増大している

公園種別 (街区公園)

近隣住民の
だれもが利用
することができる
最も身近な
公園

平常時には憩いと涼感
非常時に強さを発揮する公園
＜例＞グリーンインフラ、かまどベンチなど



かまどベンチ

遊び場や軽運動などの動的なエリアと
休息のエリアをゆるやかに分けた
誰もが楽しめる公園
＜例＞広場、ユニバーサルデザインなど



ユニバーサルデザイン
に配慮した遊具

四季折々に楽しむことのできる草木や
蝶やバッタなどの生き物にふれあえる公園
＜例＞桜、ガーデニング、土など



桜の広場

平常時には憩いと涼感、非常時に強さを発揮する公園

公園整備に当たっては、平常時の環境向上に加えて、非常時の防災性向上にも寄与するハイブリッドの機能を取り入れます。

● グリーンインフラ 自然環境が有する多様な機能の活用

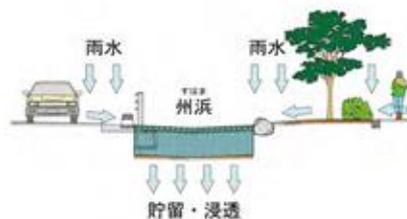
平常時

緑による憩いとゆとり



非常時

雨水貯留浸透機能の確保



● 地域防災 災害発生時に一時避難所となる公園の防災性、安全性の強化

平常時



マンホール



ベンチ



パーゴラ

非常時



マンホールを活用した非常用トイレ



炊き出しに使うかまど



救護室に使えるテント

動的なエリアと休息のエリアをゆるやかに分けた誰もが楽しめる公園

遊び場や軽運動などの動的なエリアと、休息のエリアをゆるやかに分けることや、ユニバーサルデザインにも配慮した設計を行うことで、誰もが居心地よく過ごせる空間づくりを行います。

● 動的なエリアと休息のエリアのゾーニング

動



広々とした広場や健康遊具は子どもも大人も身体を動かせるゾーン

静



緑や子どもたちを眺めながら日陰でゆっくり憩えるゾーン

● ユニバーサルデザインへの配慮、アクセシビリティ



ユニバーサルデザインに配慮した遊具



バス待ち環境やシェアサイクルポートの設置

四季折々の草木や蝶やバッタなどの生き物にふれあえる公園

四季折々に楽しめる、季節感のある樹木や、蝶やバッタが訪れる原っぱ等の整備により、みどりに親しめる公園とする。

● 四季を感じられるみどり

サクラやケヤキなど、季節感が感じられる樹木・草花



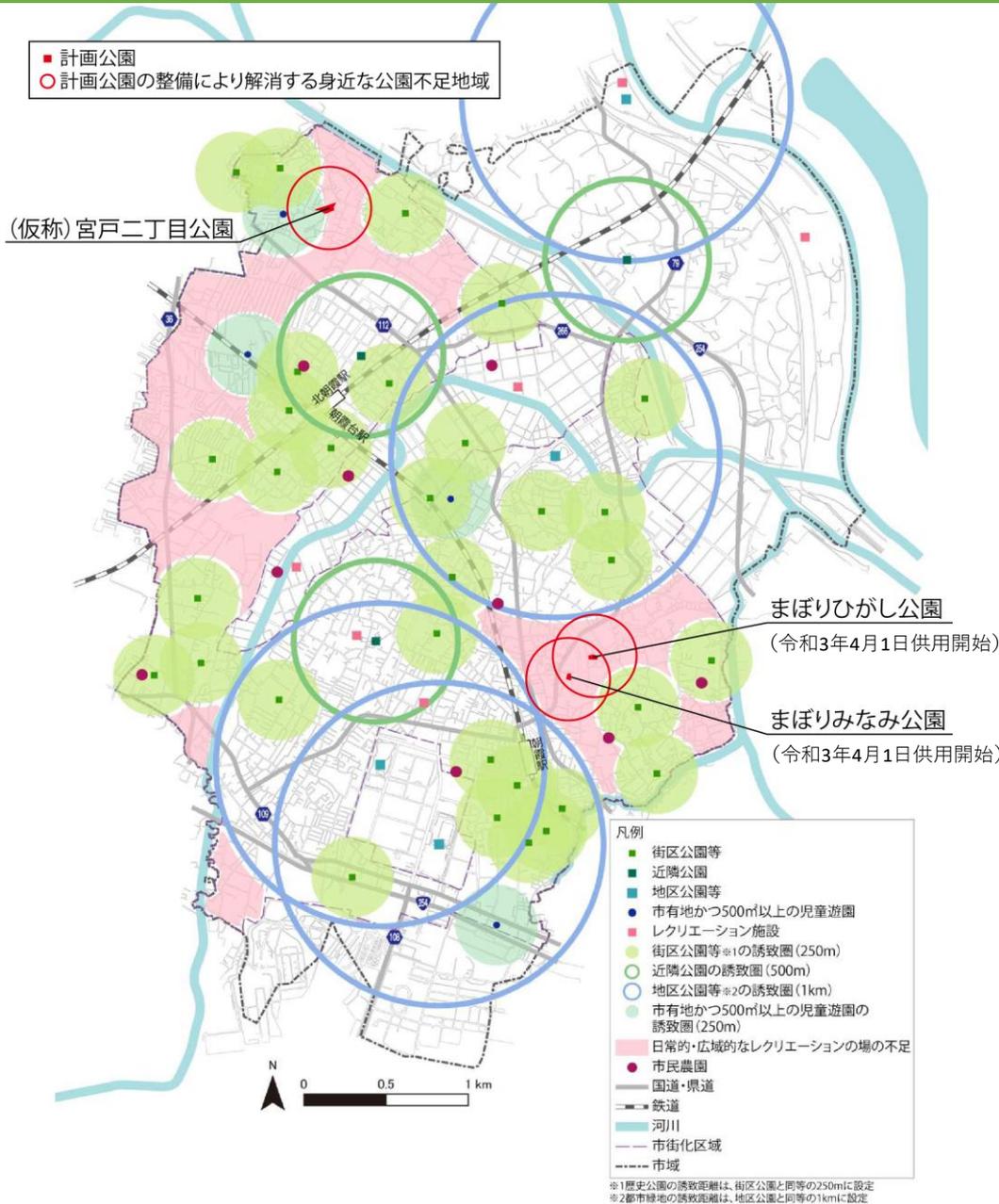
● 触れ合えるみどり

参加型のガーデニングや、子どもが虫や植物に触れ合える原っぱなど
自然に親しめる環境づくり



新宿中央公園HPより引用（種団子の植え付け）

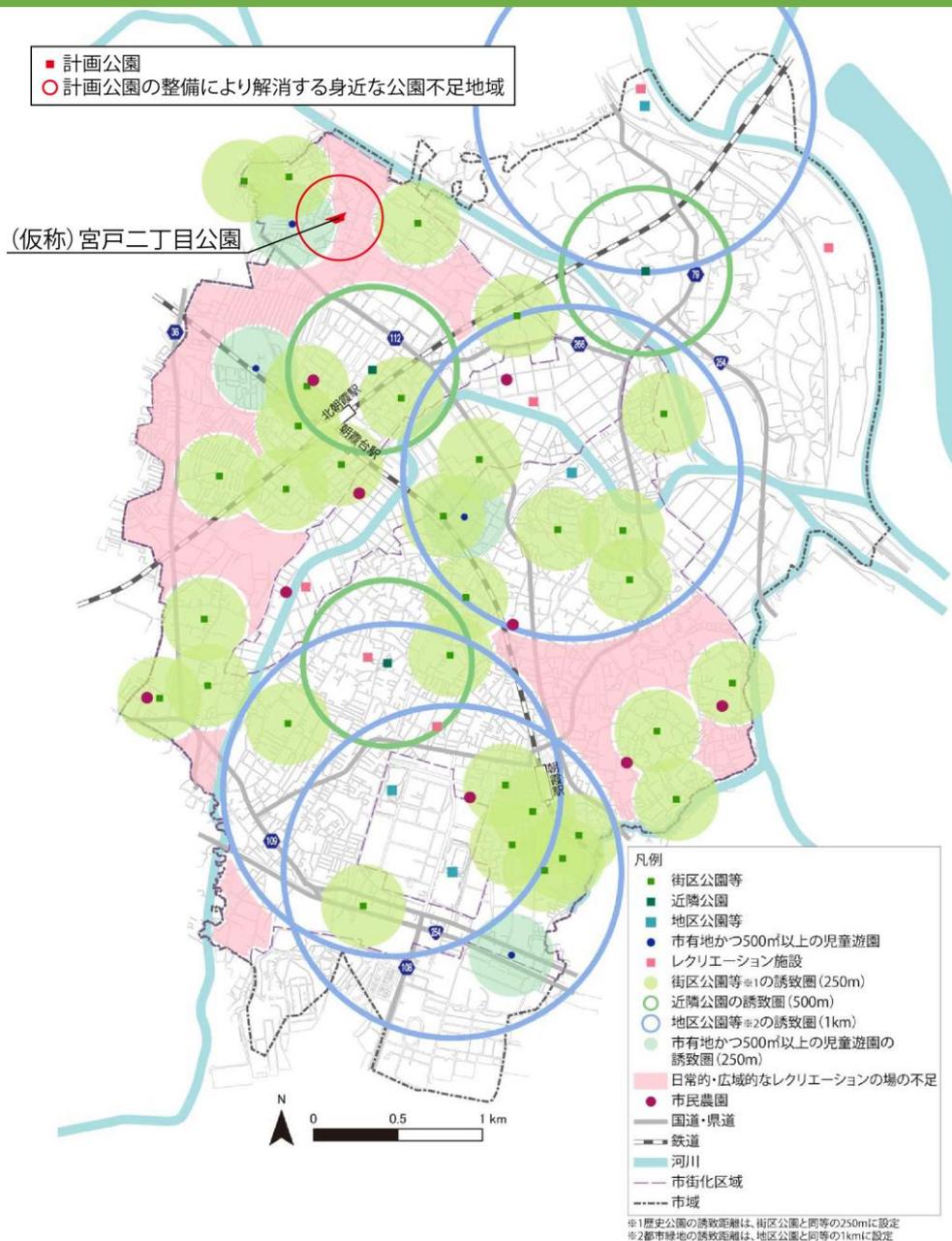
新設・整備計画3公園の位置



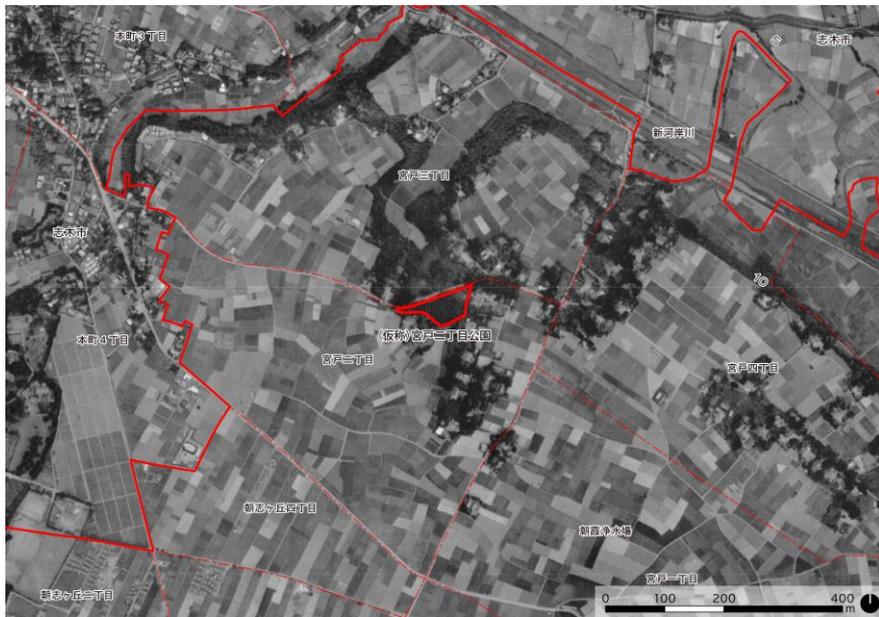
本市はこれまで身近な公園の創出に努めてきましたが、公園が不足する地域（ピンクの区域）が残されています。



新設・整備を計画している3公園は、「日常的・広域的なレクリエーションの場の不足」する地域に位置し、公園不足地域の解消に資するものと考えています。



公園と一体の快適なバス待ち空間や歩道を整備するとともに、クマノザクラなど多様な桜を楽しめる桜の広場、災害時に強さを発揮する防災機能（雨水浸透、ソーラー照明、災害用トイレなど）や、誰もが楽しめるユニバーサルデザインなど、健康づくりや憩いの場として多面的な価値を有する新しい公園です。



1961-69



1979-83



1987-90



2019

所在地	朝霞市宮戸2丁目1036番2ほか
地形	<ul style="list-style-type: none">段丘から浅い開削谷にかけて立地敷地内に高低差有り
周辺用途地域	第一種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域
ハザードマップ	浸水実績なし・浸水想定なし
その他	<ul style="list-style-type: none">前面道路は交通量が多く幅員が狭いバス通り隣接して屋敷林等豊かな緑が存在する当該地域は、宅地化によるみどりの減少により環境保全機能や防災機能が後退し、レクリエーション機能が不足していると考えられる



地形(標高)



用途地域

(仮称)宮戸二丁目公園における配慮事項

個人庭や屋敷林などの地域の豊かな
みどりや地形起伏と連続する風景づくり

バス待ち空間や道路歩道の改善

3公園共通方針

平常時には憩いと涼感
非常時に強さを発揮する公園

遊び場や軽運動などの動的なエリアと
休息のエリアをゆるやかに分けた
誰もが楽しめる公園

四季折々に楽しむことのできる草木や
蝶やバッタなどの生き物にふれあえる
公園

(仮称)宮戸二丁目公園の 立地特性に即したテーマ設定

四季を楽しむ桜の広場

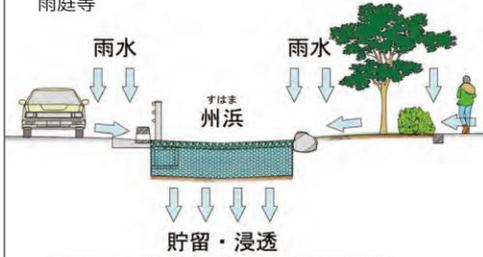
起伏のある多様な遊び空間

地域の水循環と連動する雨庭

公園と一体となった快適なバス待ち空間

歩道の整備

気候変動適応へのグリーンインフラ：
雨庭等



ユニバーサルデザインに配慮した遊具



防災への設備

歩道の幅
(2m)



周辺環境、地歴を活かした文化景観



ボランティア花壇



居心地のよい休憩施設



傾斜を活かした設え



健幸、スポーツの促進設備







桜の広場(クマノザクラ育成)



公園と一体となったゆとりのバス待ちゾーン



辻から連続する花・みどり



ユニバーサルデザインに配慮した遊具



サイクルポート、遊び場



砂場と井戸ポンプ



中央の原っぱ



暑熱対策のひよけベンチ

今後の予定

○整備スケジュール（予定）

年度	宮戸二丁目公園	まぼりひがし公園	まぼりみなみ公園
令和5年度	設計	設計	設計
令和6年度	工事	工事	—
令和7年度	開園	開園	工事
令和8年度	—	—	開園